2027年3月期 第2四半期

決算説明資料

2026年11月4日

ARE

Think Circular

AREホールディングス株式会社

東証プライム（証券コード：5857）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績ハイライト

- 前年同期比 ｜国内・アジアにおける電子分野の回収量増加、北米精錬関連事業の好調により、第2四半期は**四半期ベースで過去最高益**
- 期初計画比 ｜貴金属価格は想定を下回るも、貴金属リサイクルの採算性向上に加え、北米精錬では裁定取引機会・製品事業の需要等による押上げもあり、**利益は計画を大きく超過**
- 業績予想修正 ｜上期の進捗と足元の事業環境を踏まえ、**通期業績予想を上方修正し、過去最高の営業利益を見込む**

単位：億円

	2026/3期 2Q	2027/3期 2Q	前年同期比	2027/3期 期初計画	2027/3期 修正予想
売上収益	2,382	3,652	+1,270	6,800	7,000
営業利益	153	287	+134	410	520
貴金属リサイクル事業	70	158	+88	274	300
北米精錬事業	70	125	+55	133	210
その他※	13	4	△ 9	3	10
税引前利益	139	287	+148	400	510
親会社の所有者に帰属する当期利益	108	209	+101	290	360

※「その他」には環境保全事業およびその他調整額等の数値を含む

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

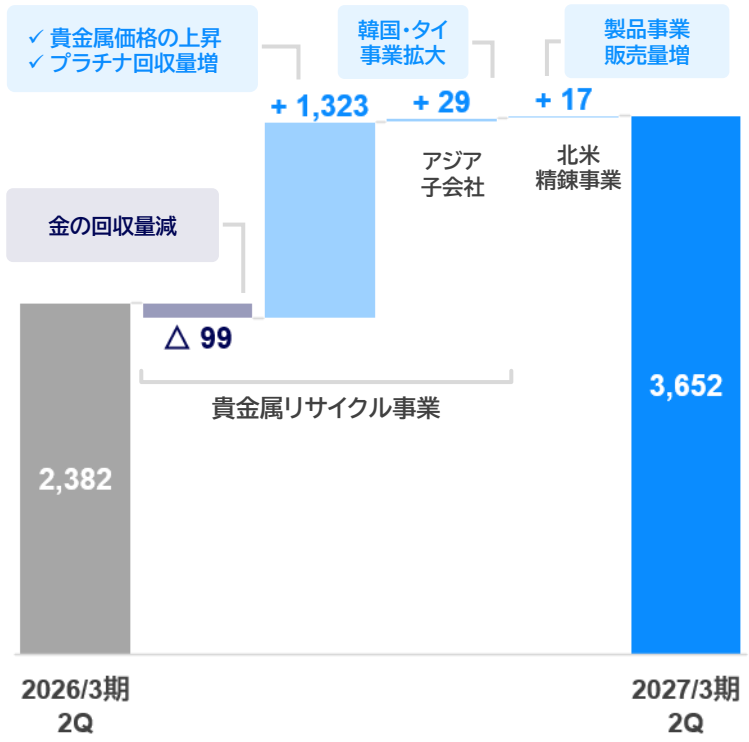
売上収益の内訳と増減要因（前年同期比）

単位：億円

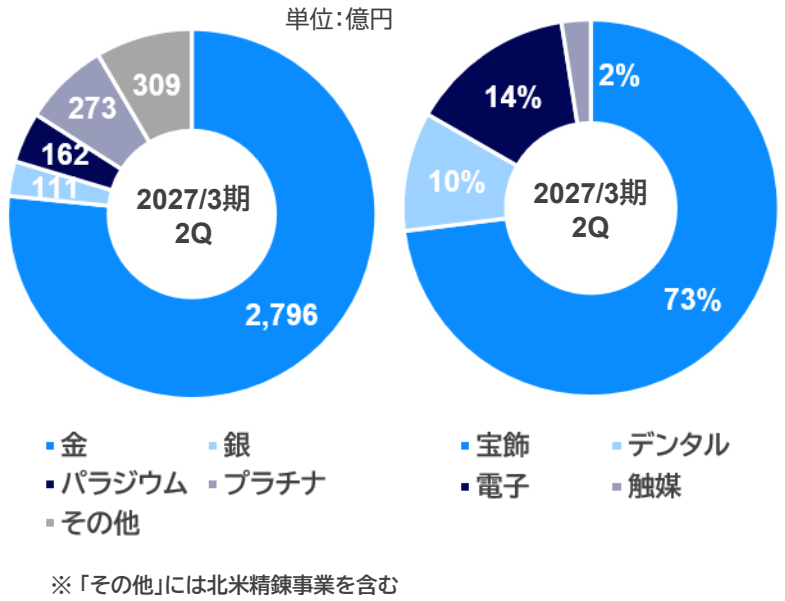
	2026/3期 2Q	2027/3期 2Q	前年同期比
売上収益	2,382	3,652	+1,270
貴金属リサイクル事業	2,217	3,469	+1,252
北米精錬事業	164	181	+17

売上収益の増減分析

単位：億円



売上構成比



※「その他」には北米精錬事業を含む

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

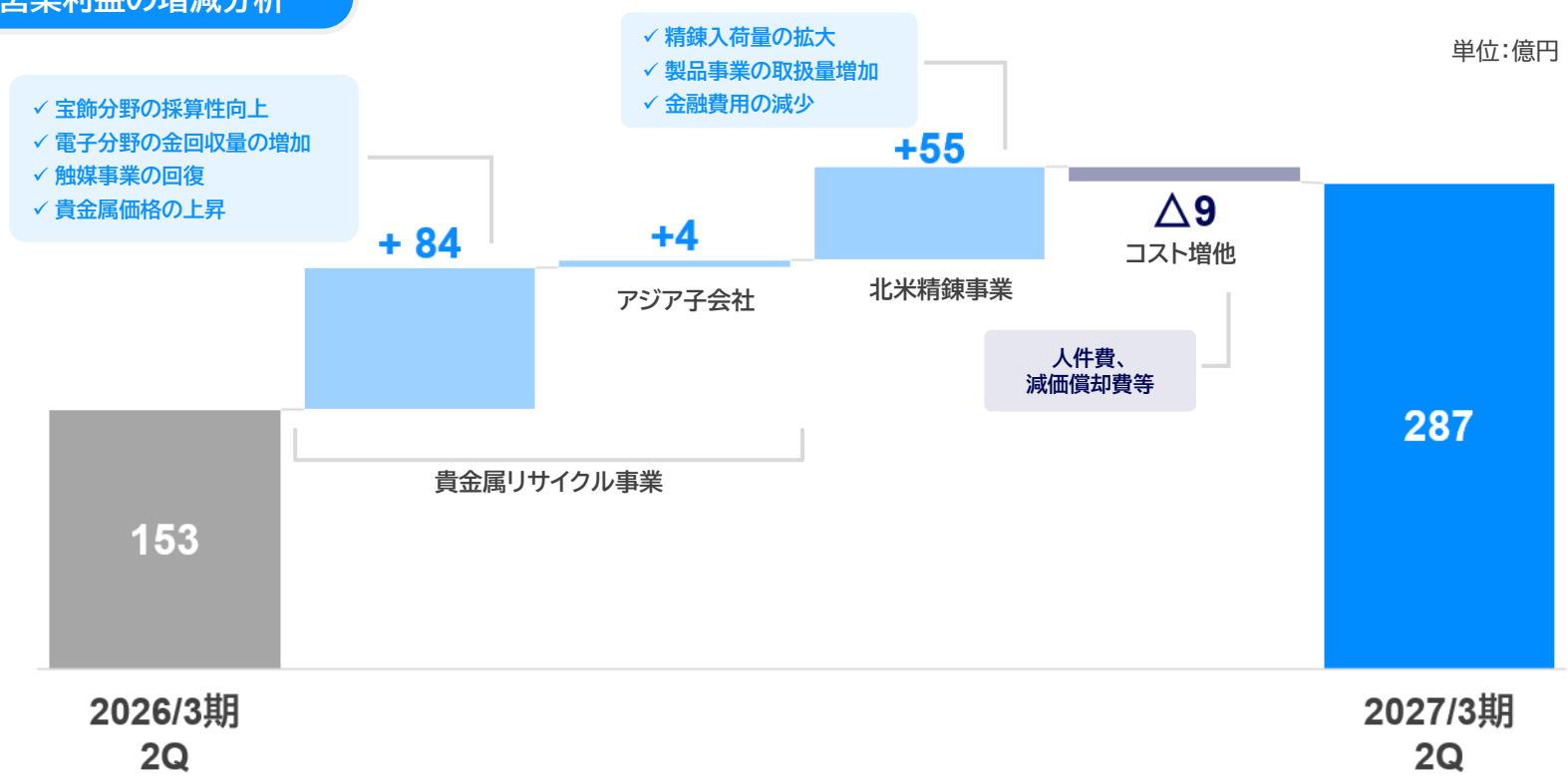
営業利益の内訳と増減要因（前年同期比）

単位：億円

	2026/3期 2Q	2027/3期 2Q	前年同期比
営業利益	153	287	+134
貴金属リサイクル事業	70	158	+88
北米精錬事業	70	125	+55
その他	13	4	△ 9

※「その他」には環境保全事業およびその他調整額等の数値を含む

営業利益の増減分析

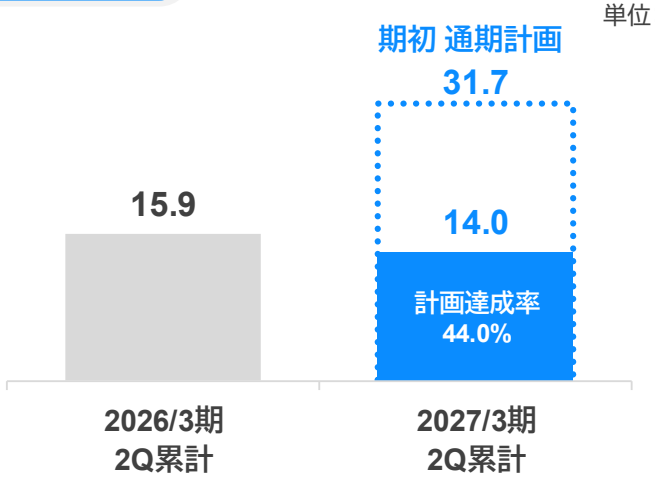


Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　貴金属別の回収量（前年同期比）

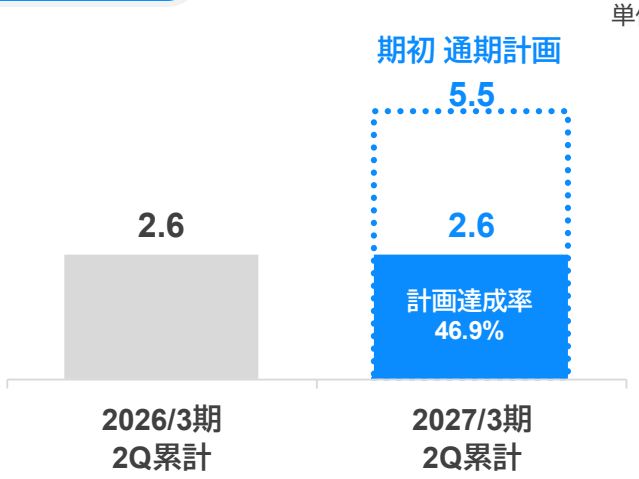
金

単位:トン



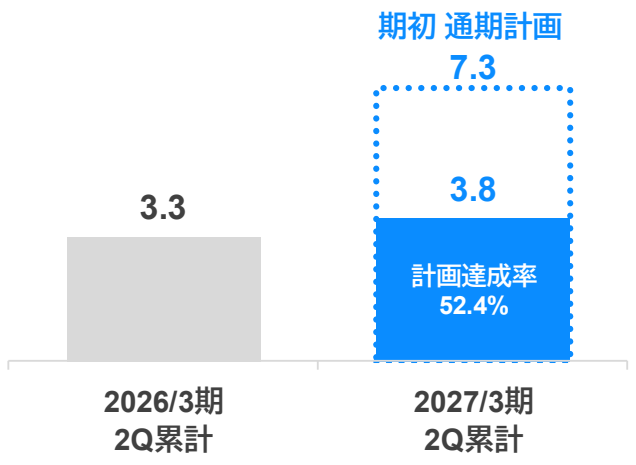
パラジウム

単位:トン



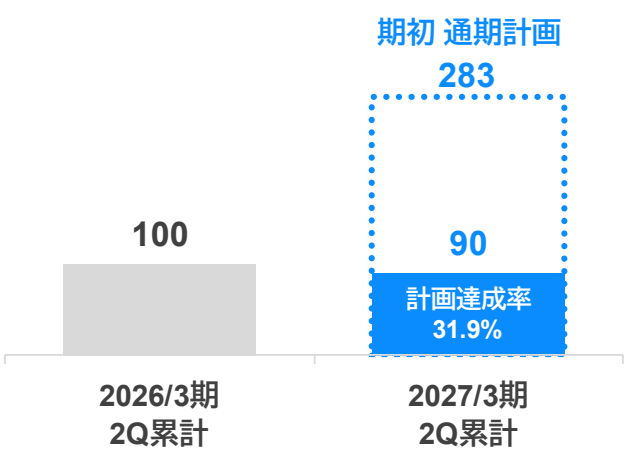
プラチナ

単位:トン



ロジウム

単位:kg



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　分野別の概況

	利益 （前年同期比）	回収量 （前年同期比）	概況
デンタル	増益 ↑	金 ▲7.4%	➢ 市場縮小が継続する中、新規顧客開拓を推進し回収量減少を抑制 ➢ 収益性改善策と貴金属価格上昇の影響により、前年同期比で増益
宝飾	増益 ↑	金 ▲19.4%	➢ 収益性向上の取り組みが奏功し、金の回収量が減少するも増益 ➢ 外部物流パートナーとの連携や、オペレーションセンターを活用した回収物の直送化を推進し、安全性と営業効率を向上
電子	増益 ↑	金 +11.6%	➢ AIデータセンター関連需要の急増が大きく寄与し、回収量・利益ともに前年同期を大きく上回る ➢ その他の分野に関しても緩やかに回復基調
触媒	増益 ↑	パラジウム +2.8%	➢ 海外・化学触媒分野からの入荷拡大により、回収量・利益ともに前年同期を上回って推移 ➢ 国内の自動車廃触媒市場は、円安等の外部環境により競争が激化しているが、坂東工場第2期の稼働により収益改善を見込む

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　貴金属価格推移

金



パラジウム



プラチナ



ロジウム



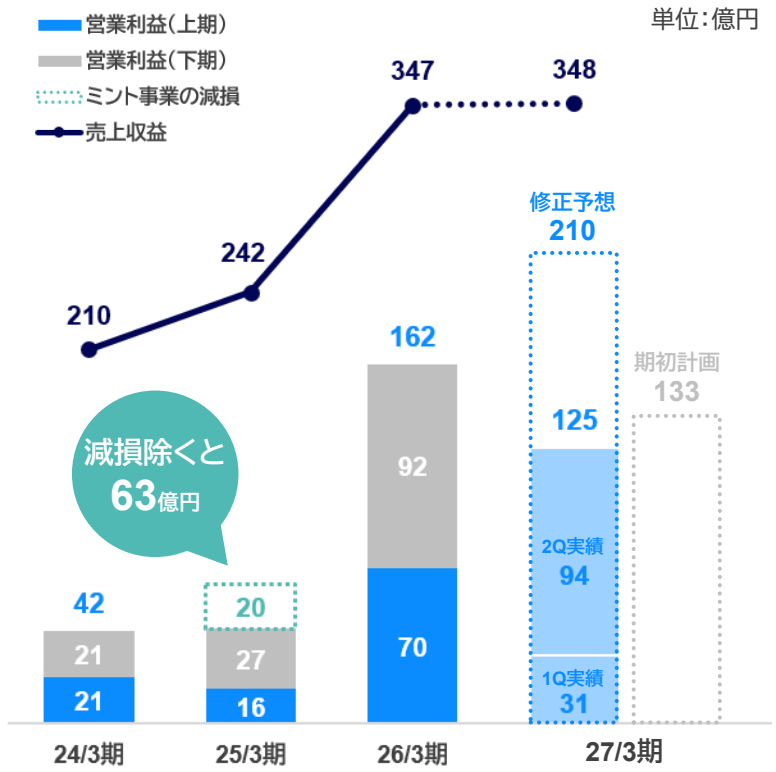
Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

【参照元】金:山元建値、パラジウム:日経安値、プラチナ:小売価格(税抜)、ロジウム:Metals Week NY Dealer Prices

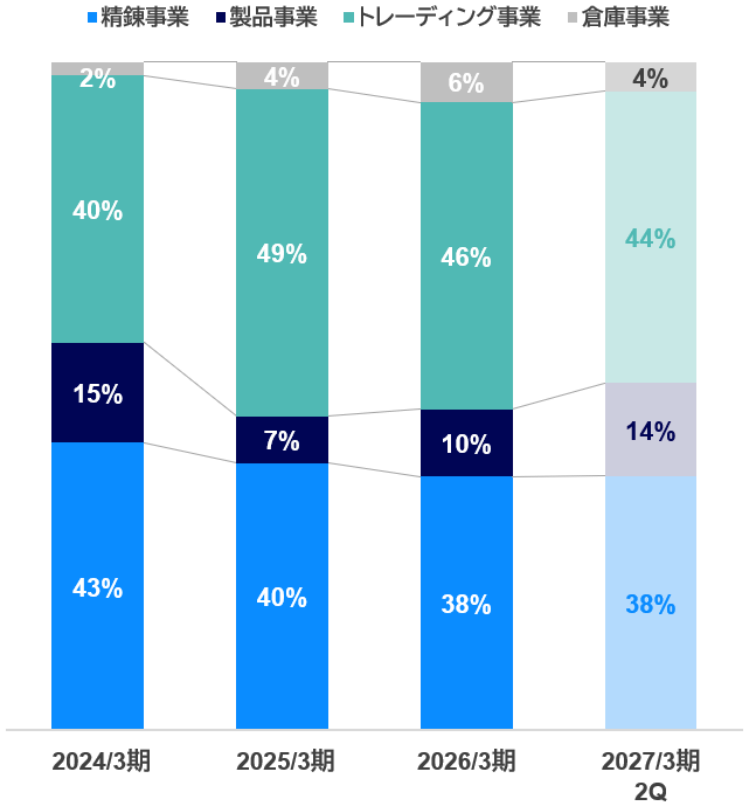
北米精錬事業　業績推移

- 事業の中核である精錬では、**高水準の精錬入荷量をベースに利益が拡大**
- トレーディングは、期初は減益を計画していたものの、**裁定取引機会を適切に捉えたことで前年同期比で増益**
- 製品加工は、金融機関との取引が増加し、**高水準の収益が持続**
- 銀のリースレートが期初に低下（平常化）したことが**金融費用の減少につながり、期初計画比の上振れ要因となった**

1 業績推移



2 売上収益の内訳



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

北米精錬事業　精錬入荷量および倉庫保管量の状況

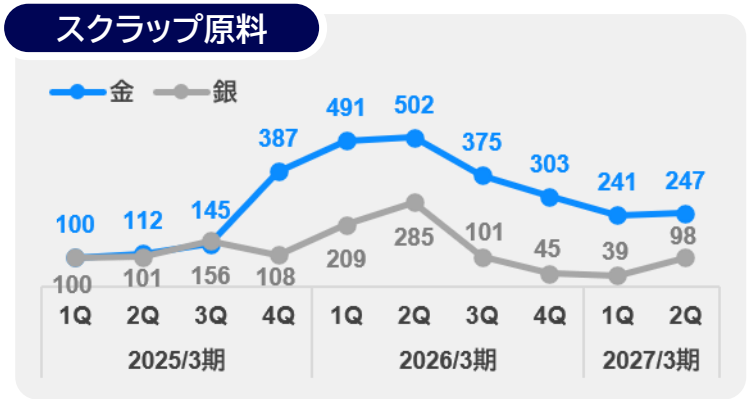
- 鉱山由来原料の入荷量は、**金・銀ともに高水準で推移**
- スクラップ原料は、取引条件の改善を進め、当期1Qから**銀の入荷を拡大**
- 倉庫事業では、2026年3月の保管料改定により、保管量減少の影響を抑制。**下期は保管量増加を計画しており、通期では増益を見込む**

1 精錬入荷量

鉱山由来原料



スクラップ原料

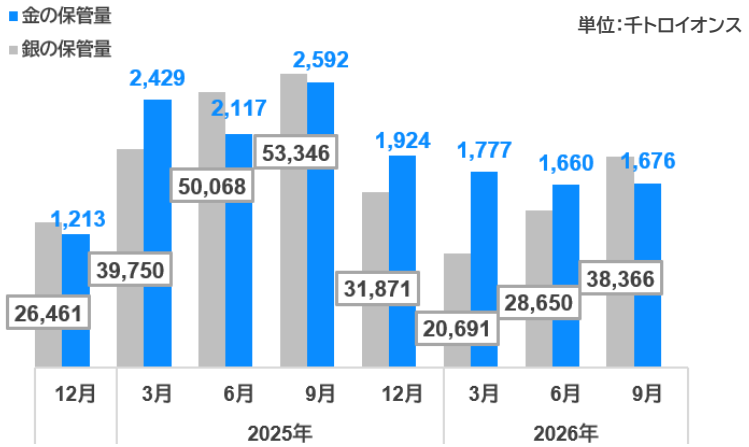


※ 2025/3期1Qを100とした際の指数グラフ

2 倉庫事業

※バー1本あたりの月額料金

対象	従来 2026年2月まで	改定後 2026年3月から	増減
	15ドル	20ドル	+5ドル
	8.5ドル	10ドル	+1.5ドル



※ COMEXの「Daily Metal Stocks Report」より当社作成
※ Registeredの保管量を参照

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

連結財政状態計算書

- 北米精錬事業における鉱山会社等との取引増加により、【営業債権及びその他の債権】と【社債及び借入金】が両建てで増加
- 国内の工場在庫量の減少と貴金属価格の下落により、【棚卸資産】が減少
- 貴金属価格変動に伴うヘッジ評価の影響により、【その他の金融資産】と【繰延ヘッジ損益】が減少

単位：億円

	2026年 3月末	2026年 9月末	増減	主な増減内容	
流動資産	5,370	5,378	+8	営業債権及びその他の債権	+591
				棚卸資産	△164
				その他金融資産	△438
非流動資産	784	806	+22		
資産合計	6,154	6,183	+29		
流動負債	2,769	3,110	+341	営業債務及びその他の債務	△736
				社債及び借入金	+641
				その他金融負債	+427
非流動負債	1,080	1,083	+3		
資本	2,306	1,990	△ 316	繰延ヘッジ損益	△437
負債・資本合計	6,154	6,183	+29		

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

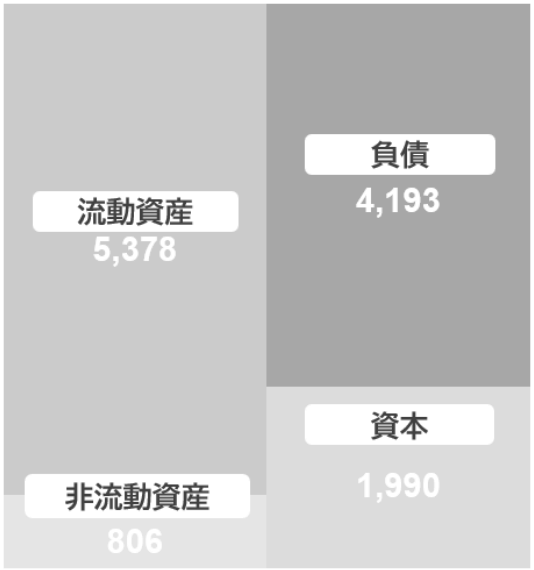
自己資本比率の考え方

- 当社のバランスシートは、貴金属原料等の換金性の高い資産と、それに対応する短期の有利子負債が大半を占めている
  （※北米精錬事業における「前渡し取引」に関する資産・負債を含む）
- 当社では、**換金性の高い資産を除いた自己資本比率**を用いて、財務の健全性を評価している

AREホールディングス連結BS

2026年9月末

単位：億円

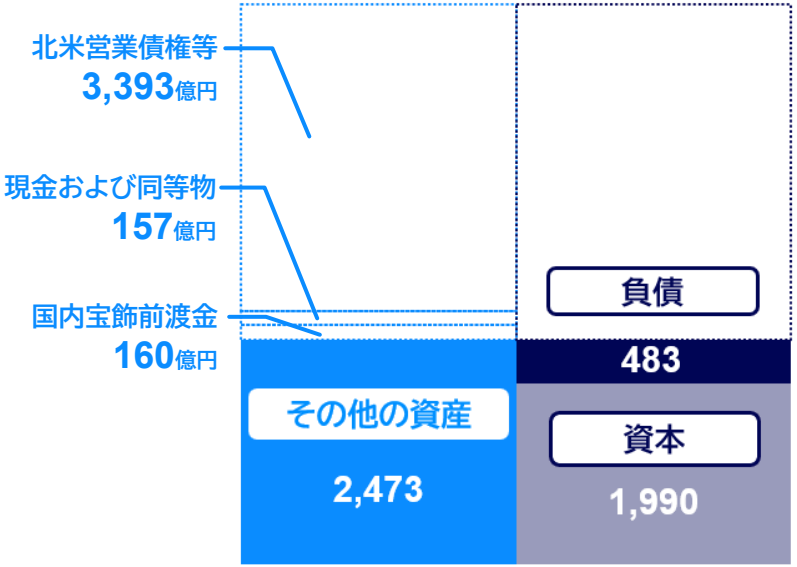


自己資本比率
（親会社所有者帰属持分比率）

32.2%

換金性の高い資産を除いたBS

単位：億円



自己資本比率
（親会社所有者帰属持分比率）

80.5%

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

連結キャッシュ・フロー計算書

- 工場在庫量の減少と貴金属価格の下落により、棚卸資産が減少
- 財務活動は返済と配当金支払が中心

単位：億円

	2027/3期 2Q	主な増減内容	
営業活動によるキャッシュフロー	632	税引前利益 棚卸資産の増減 その他債権債務増減等	+287 +164 +181
投資活動によるキャッシュフロー	△ 24	有形固定資産の取得による支出	△28
財務活動によるキャッシュフロー	△ 552	借入金の増減 配当金の支払額	△496 △56
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0		
現預金の増減額	55		
現金及び現金同等物の四半期末残高	158		

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

設備投資計画の進捗

- 貴金属リサイクル事業では、坂東工場において、電子・触媒分野を中心に処理能力の強化に向けた設備投資を推進中
- 北米精錬事業では、銀精錬設備の開所式を実施し、本格稼働に向けて推進中

単位：億円

	2026/3期 実績	2027/3期 2Q実績	2027/3期 計画	設備投資計画の主な内容
設備投資額	88	27	102	
貴金属事業	87	27	101	
貴金属リサイクル事業	56	19	47	坂東工場の生産能力強化・・・約24億円
北米精錬事業	32	8	54	精錬事業の収益性向上・・・・・約29億円
その他	1	0	1	
減価償却費	30	17	36	

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

設備増強｜中長期ビジョンを支える生産基盤

- 国内・アジア・北米の進行中の設備投資は概ね完了
- 今後は増強した生産基盤を活かし、さらなる生産性改善とともに事業の拡張を推進

1 坂東工場第2期3号棟 下期稼働予定

日本・茨城



- 2026年度4Q：中間製品の製造を開始し、段階的に収益化
- 2027年度中：製品製造を開始し、本格稼働を予定
- 白金族の処理能力拡充により、触媒・合成医薬等の新分野からの回収拡大に対応

成長戦略
生産基盤の拡充
触媒分野の復調／新元素の取扱量拡大

2 タイ 工場 11月稼働スタート

タイ・バンコク近郊



- 金需要が拡大するタイで、宝飾スクラップの大口取引獲得を目指す
- 買い取った宝飾品スクラップをタイ国内で精錬する体制を構築
- 欧州業者への委託に比べ、リードタイムの短縮と高度な精錬技術・ノウハウを活かしたサービス提供を実現

成長戦略
事業の地理的拡張
アジアへの進出拡大／電子分野の拡大

3 北米 銀精錬施設 新棟開所

米国・ソルトレイクシティ



- 40年以上稼働してきた既存設備の更新により、幅広い銀含有入荷原料が処理可能となる高効率な操業基盤を構築
- 処理能力と品質の向上により、これまで以上に競争優位性を強化
- 最新鋭の銀電解設備導入で再処理量を低減し、在庫・金融費用を削減

成長戦略
生産基盤の拡充
北米精錬事業の収益性向上

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

2027年3月期｜期初計画対比の増減要因

期初計画対比の増減要因

- 貴金属リサイクル事業：
  電子分野における金回収量の増加や宝飾分野における採算性向上施策の効果により、期初計画を上回る利益を見込む
- 北米精錬事業：
  鉱山由来原料の入荷量の増加・裁定取引機会の獲得・金融費用の減少等により、期初計画を上回る収益貢献を見込む
- 修正予想は、下期の貴金属価格の前提を足元の水準に見直して算出

単位：億円

	2026/3期 実績	2027/3期 期初計画	2027/3期 修正予想	期初計画比 増減額
売上収益	5,700	6,800	7,000	+200
営業利益	371	410	520	+110
貴金属リサイクル事業	199	274	300	+26
北米精錬事業	162	133	210	+77
その他	10	3	10	+7
税引前利益	347	400	510	+110
親会社の所有者に帰属する当期利益	244	290	360	+70

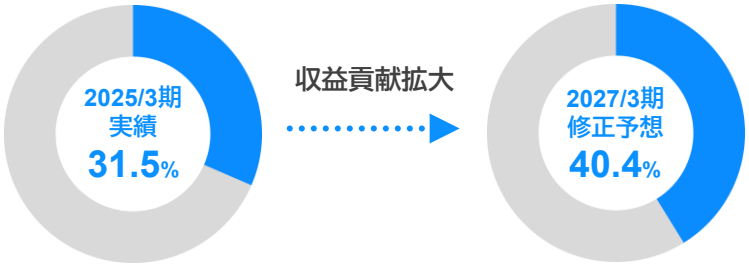
Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

業績予想の修正ポイント

- 貴金属価格が期初想定を下回るなかでも、高水準の利益を実現
- 精錬手数料をベースとした安定的な収益構造の強化に加えて、北米精錬事業の収益貢献が拡大し、貴金属価格に大きく左右されない事業構造への転換が進展

1 北米精錬事業の収益貢献が拡大

連結営業利益に占める北米精錬事業の比率





北米精錬事業の収益拡大要因

- 鉱山由来原料の入荷拡大
- トレーディング事業の好調
- 製品事業の取扱量増加
- 倉庫事業の成長

2 貴金属価格の推移

金の上期平均価格は期初前提価格を下回る水準で推移



単位:円/g

	金	パラジウム	プラチナ	ロジウム
期初前提価格	23,000	7,000	9,000	48,000
上期平均価格（2027/3期）	22,557	7,044	9,534	44,213
差異	△443	+44	+534	△3,787

北米精錬事業の収益貢献の拡大により、

貴金属価格が低調でも利益を創出できる事業ポートフォリオを構築

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

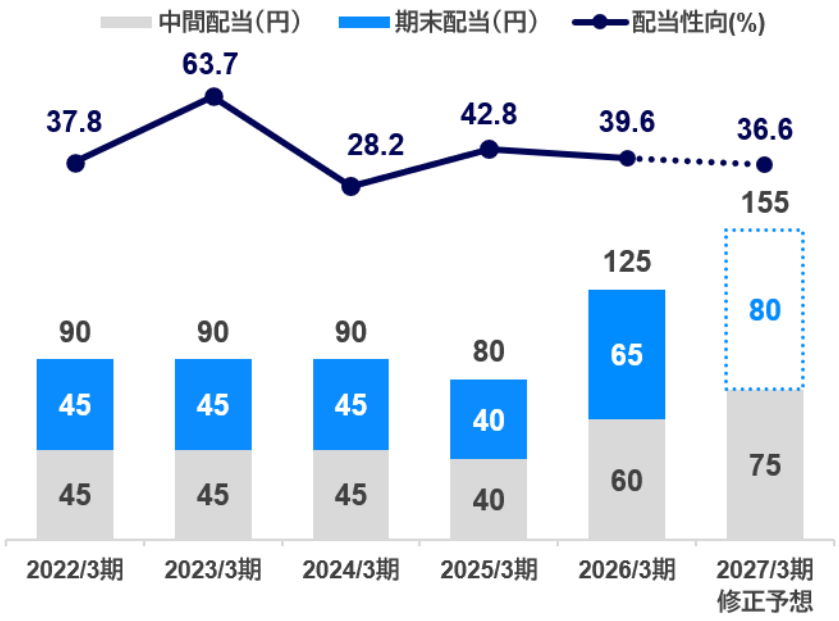
株主還元

- 当社の株主還元は、配当性向40%を目安とした安定配当を基本とする
- 業績予想の上方修正を踏まえ、年間配当予想を1株当たり155円に増配（前回予想比+20円）
- 業績拡大と株主還元の強化により資本効率が向上し、**ROEは期初想定の13.6%から16.7%へ上昇する見込み**

配当

期初予想
135円
中間配当 65円
期末配当 70円

修正予想
155円
中間配当（実績） 75円
期末配当 80円



自己株式の取得

- 資本効率の向上等を目的として、自己株式の取得を決議
- 2026年11月5日に自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）にて買付けを実施予定

自己株式に係る事項の内容

取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数（上限）	220万株
株式の取得価額の総額（上限）	75億円
取得日	2026年11月5日
取得方法	ToSTNeT-3にて買付け

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

中長期ビジョン　基本方針

ARE
Think Circular

Purpose

この手で守る自然と資源

1 成長戦略



- 新市場の獲得
- 事業の地理的拡張
- リテール事業の強化

2 財務戦略



- 成長投資
- 株主還元
- 財務健全性

3 人的資本



- 組織力の強化
- 人材の育成

2030年度の数値目標

売上収益	営業利益	ROE	EPS
7,500億円	500億円	13%	420円
（策定当初比 +2,100億円）	（策定当初比 +120億円）		

中長期ビジョンで掲げる2030年度の数値目標は今後見直しを検討

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

再掲

ARE Think Circular

足元の事業環境を反映した成長戦略にアップデート

成長戦略①

技術開発による新市場の開拓

貴金属リサイクルに関する研究開発を強化し、
新分野からの回収量拡大を狙う



AI半導体関連
（金・パラジウム等）



合成医薬関連
（パラジウム等）



水素・アンモニア製造分野
（イリジウム・ルテニウム等）

成長戦略②

事業を地理的に拡張

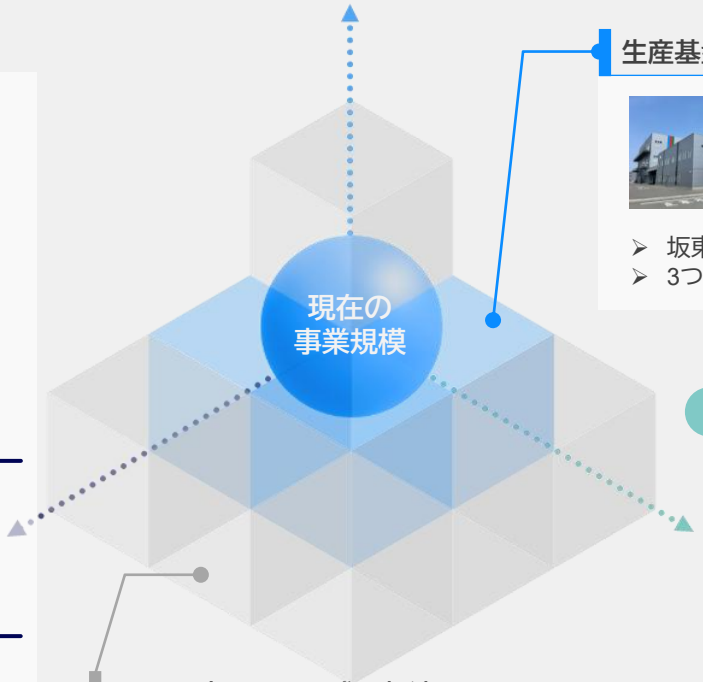


貴金属リサイクル事業

アジアへの進出を加速し、**原材料の調達地域とリサイクル拠点を拡張**する

北米精錬事業

事業のさらなる多角化とグローバル展開を目指す



M&Aの実現による成長加速

既存事業と親和性の高い企業へのM&Aを通じて、
事業成長の加速と事業領域の拡張を実現する

生産基盤が拡充



坂東工場
（第1期）



坂東工場
（第2期）

- 坂東工場第2期の段階的稼働により、生産基盤を拡充
- 3つの成長戦略を支える事業基盤として機能

成長戦略③

リテール事業の強化



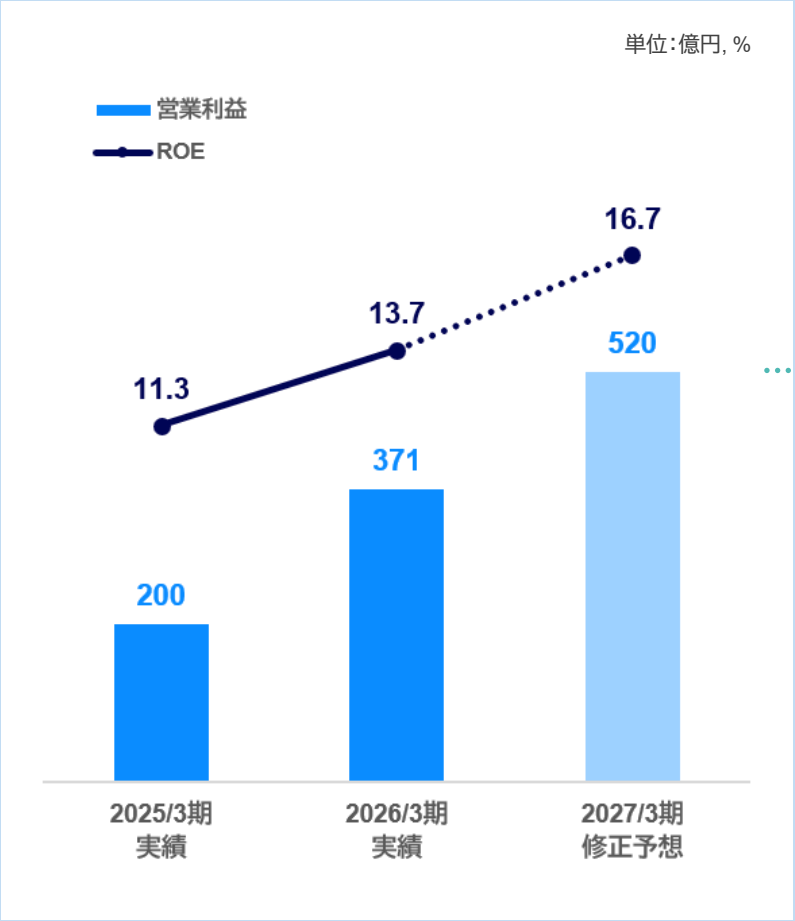


- 新製品開発によるリピート需要喚起
- 自治体等との連携による市場開拓
- 新サービス展開による新規顧客拡大

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

中長期ビジョン　業績目標

営業利益・ROE
（M&Aを含まない）



※ 中長期ビジョンで掲げる2030年度の数値目標は今後見直しを検討

最終年度に向けた主な成長要因

1 電子分野の拡大
- 国内・海外の**AI関連分野の回収拡大**
- 最新設備の導入・自動化による生産性改善

2 触媒分野の復調
- **坂東工場の稼働開始**による収益拡大
- 化学・製薬分野からの回収量拡大

3 アジアへの進出拡大
- **ASEAN・インド**における回収営業の強化
- タイの現地工場稼働による収益性向上

4 イリジウム・ルテニウムの取扱量拡大
- 回収体制の強化と技術基盤の拡充

5 北米精錬事業の収益性向上
- 北米精錬設備の増強を通じた生産性向上
- 契約条件の改善による収益性向上

6 貴金属のプレミアム販売拡大
- 新製品・新サービス展開によるリテール事業強化
- グリーンメタルのグローバル販売拡大

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

中長期ビジョン　財務戦略

再掲

財務戦略の基本方針

- 事業成長と資本効率を意識した経営を推進
- 安定的なキャッシュ創出力を基盤に、財務健全性を維持しつつ、「成長投資」と「株主還元」を両立

成長投資	既存事業の収益性改善、M&Aを含む新規事業投資
株主還元	配当性向40%を目安に安定配当
財務健全性	事業特性を踏まえた財務健全性の維持管理を継続。並行して、資金調達の多様化と資金効率の改善を推進

キャッシュアロケーション

- 既存事業の設備投資が2026年度でピークアウトすることから、M&Aを含む新規事業投資による事業拡大に注力
- 配当性向40%の方針に沿って業績の拡大に合わせた安定配当を継続
- 余剰資金については、財務健全性に配慮しつつ、資本効率の向上策を検討

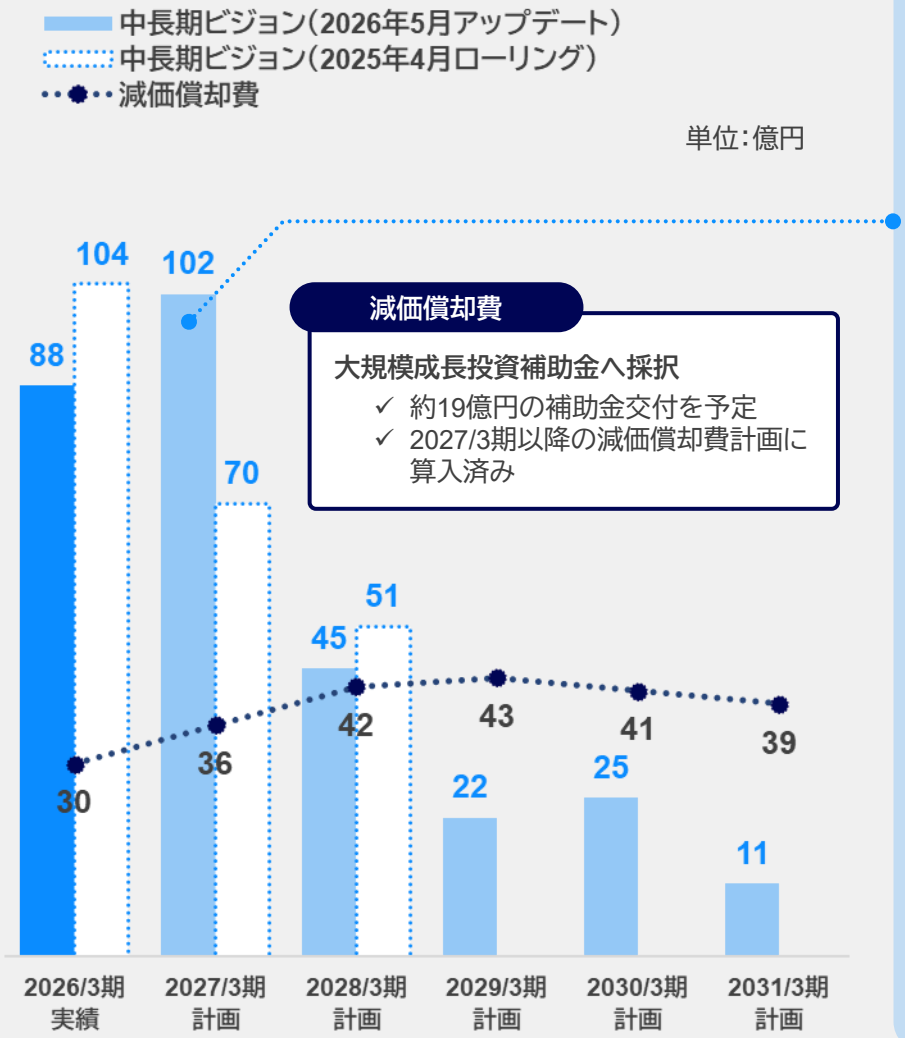


Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

中長期ビジョン　設備投資計画

再掲

設備投資・減価償却費



減価償却費

大規模成長投資補助金へ採択

- ✓ 約19億円の補助金交付を予定
- ✓ 2027/3期以降の減価償却費計画に算入済み

2027/3期の主な投資内容

貴金属リサイクル事業

電子・触媒分野の収益性向上	28億円
→ 坂東工場の生産能力強化	24億円
→ 尼崎・福岡工場の生産能力強化	4億円
デンタル・宝飾分野の収益性向上	3億円
タイの現地工場設立	9億円
技術開発に伴う設備投資	7億円

北米精錬事業

精錬事業の収益性向上	29億円
銀製品の製造プロセス自動化	7億円
金の倉庫キャパシティ拡大	4億円

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

中長期ビジョン　人事制度コンセプトの改定

再掲

人事制度改定の狙い

社員一人ひとりの行動をAREグループウェイに結び付け、中長期ビジョンの成長戦略の着実な実行を通して、持続的な企業価値向上を実現する



評価制度の改定



1 Valuesの共有

- 行動指針であるAREグループウェイの5つのValuesを評価指標として活用
- 中長期ビジョンの達成および将来の企業価値向上に向け、社員の行動を方向づけ



2 挑戦の後押し

- 主体的な挑戦や成長が分かりやすく評価・報酬に反映される制度へ再設計
- 自ら考え、挑戦する社員の意思を醸成し、背中を押す仕組みを構築



3 成長の可視化

- 役割・成長・成果が明確に反映された報酬設計
- 上長からの充実したフィードバックを通じ、納得感と内省を高め継続的成長を動機づけ

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

中長期ビジョン　リテール事業の強化

アサヒメタルファイン

AREホールディングスグループにおいて
貴金属製品の製造・販売を担う

1 茨城県坂東市ふるさと納税返礼品のラインナップを拡充

- ふるさと納税制度を通じて地域振興に貢献
- 当社が国内で製造した**高品質な貴金属製品の価値を広く発信**

金製品
(2026年11月2日 提供開始)



< 表 >



< 裏 >

「月麗夜(げつれいや)」
純金1/10ozミント

銀製品
(2026年4月1日 提供開始)



銀のグラニュール



銀のお祝いセット



銀のメモリアルプレート

2 純金積立事業を承継

- 資源循環から資産形成まで**一貫した貴金属サービスを提供**

事業承継(吸収分割)の概要

分割会社 ドコモSMTBネット銀行 ▶	承継会社 アサヒメタルファイン
効力発生日(予定)	2027 年 5 月 6 日　※2026 年 9 月 30 日契約締結
承継する事業の内容	純金積立事業
事業の概要	➢ 少額から毎月一定額で金を購入する積立サービスを提供し、資産形成を支援 ➢ 貴金属を活用した長期投資ニーズや資産分散ニーズを取り込み、継続的な顧客接点を構築

回収 → 精錬 → 製造 → 販売 → 保管 → 積立





Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

マテリアリティの進捗 ①

貴金属リサイクルの拡大

貴金属リサイクル量

2026年度上期実績

合計 **144**トン

前年同期比 △58%

金 **34**トン

前年同期比 △32%

CO_2削減外部貢献量

2026年度上期実績

45.0万トン

前年同期比 △30%

木に換算すると…

3,212万本

CO_2排出量の削減

CO_2排出量 Scope1+2 ※

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

- SBTiより認定された温室効果ガスの排出削減目標へ向けて順調に推移

2025年度累計	2030年度通期目標
（CO_2排出量）	（CO_2排出量）
17.0千トン	**11.9**千トン
（2024年度比）	（2023年度比）
△7%	△42%

ワークライフバランスとダイバーシティの基盤充実

年次有給休暇取得率

2025年度実績	2030年度通期目標
60.8%	70.0%

女性管理職比率

2025年度実績	2030年度通期目標
5.4%	7.0%

障がい者雇用比率

2025年度実績	2030年度通期目標
3.0%	2.5%

インターバル勤務11時間達成率

2025年度実績	2030年度通期目標
99.9%	100%

男性育休・育児目的特休取得率

2025年度実績	2030年度通期目標
100%	100%

SDGs活動の奨励・支援

アサヒクリーンプロジェクト

2026年度上期の地域の清掃活動

28回実施（延べ**215**名参加）





※2015年度以降に増減した事業分は除く。

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

マテリアリティの進捗 ②

人・社会・環境にやさしい貴金属供給

外部評価

グッド・デリバリー認定の取得

LBMA GOOD DELIVERY REFINER

LPPM LONDON PLATINUM & PALLADIUM MARKET

「グッド・デリバリー・リファイナー」として、LBMAやLPPM等の国際的認定機関が求める製品の品質や貴金属の分析能力、責任ある調達体制に関する厳格な審査をクリアしている

※ LBMA：ロンドン地金市場協会、LPPM：ロンドン・プラチナ・パラジウム市場

COP認証・COC認証の取得

RESPONSIBLE JEWELLERY COUNCIL
CERTIFIED MEMBER
0000 6719

CHAIN OF CUSTODY
CERTIFIED NUMBER
C0000 5457

RJC（責任あるジュエリー協議会）の行動規範に関するCOP認証および加工・流通過程管理に関するCOC認証を取得し、貴金属サプライチェーンの一員として責任を果たしている

※COP：Code of Practices、COC：Chain of Custody

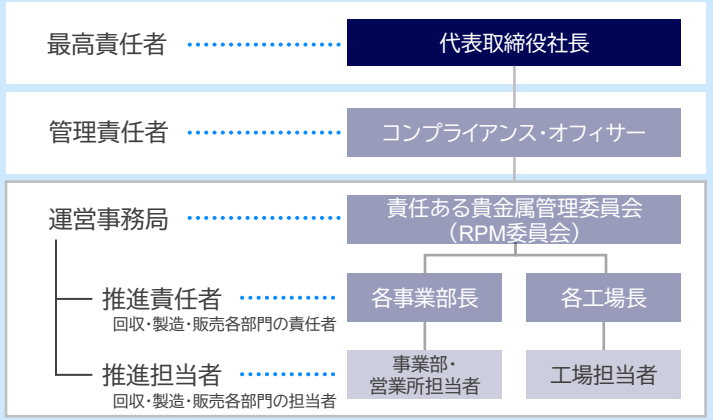
「責任ある貴金属管理」における当社の取り組み

1 責任ある貴金属管理方針の制定

目的

- 人権侵害、テロ資金供与、マネーロンダリング、不正取引、盗難や紛争への加担を回避する
- ESGリスクのある調達を回避する
- 環境・サステナビリティに対する責任を果たす

2 責任ある貴金属管理体制の徹底



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

資金調達の多様化

- 貴金属価格の高騰や前渡し取引の拡大により、北米精錬事業を中心に資金需要が拡大
- 資金調達を多様化し、必要な資金を安定的かつ機動的に調達することで事業拡大を支援

1 信用格付の維持・取得

格付機関	格付対象	格付	格付の方向性	格付付与・維持
R&I 株式会社格付投資情報センター	発行体格付	A-	安定的	2026年1月 （初取得：2025年1月）
	コマーシャルペーパー	a-1	－	2026年2月

2 資金調達の取り組み

普通社債の発行

	第1回	第2回
発行日	2025年10月23日	2026年3月5日
発行額	200億円	200億円
年限	3年	3年
利率	年1.554%	年1.923%
取得格付	A-（格付投資情報センター（R&I））	

調達資金の使途

北米運転資金へ充当



前渡し取引に資金を要する北米精錬事業の運転資金に充当し、グループ全体の金融費用を抑制

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

各種外部評価

1 株価指数等への選定

JPX-NIKKEI 400

2020 - 2026年度選定

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした「投資者にとって投資魅力の高い会社」400銘柄で構成される株価指数

JPX-NIKKEI Mid Small

JPX日経インデックス400のコンセプトを中小型株に適用し、「資本の効率的活用や投資者を意識した経営を行っている会社」200銘柄で構成される株価指数

2 ESG関連の評価

MSCI ESG RATINGS BBB

CCC | B | BB | BBB | A | AA | AAA

FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index

Climate CDP A List 2025

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

プラチナくるみん 子育てサポートしています

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

ディスクレイマー

AREホールディングスを MSCI インデックスに含めること、および MSCI のロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名を使用することは、MSCI またはその関連会社がAREホールディングスを後援、承認、または宣伝することを意味するものではありません。MSCI インデックスは MSCI の独占的財産です。MSCI ならびに MSCI インデックスの名称およびロゴは MSCI またはその関連会社の商標またはサービスマークです。

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　国内およびアジアの拠点

貴金属事業

Asahi Pretec (Thailand) Co., Ltd.



設立：2024年
場所：タイ、サムットプラーカーン

貴金属事業

韓国アサヒプリテック株式会社



設立：2006年
場所：韓国、忠州（チュンジュ）

貴金属事業

アサヒプリテック株式会社
アサヒメタルファイン株式会社

環境保全事業

ウェイストシステムジャパン株式会社
DXE株式会社



貴金属事業

Asahi Pretec India Private Limited



設立：2025年
場所：インド、グルガオン

貴金属事業

ASAHI G&S SDN. BHD.



設立：1994年
場所：マレーシア、ペナン

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業の強み

全国を網羅する**広範な回収ネットワーク**と
創業以来蓄積された技術・ノウハウが当社の競争力の源泉

全国を網羅する広範な回収ネットワーク



自社従業員が顧客一件一件を直接訪問する、
顧客密着型の営業体制を構築

創業以来蓄積された技術・ノウハウ

分析技術



- ✓ 回収物を複数の工程により均一化し、代表性のあるサンプルを抽出
- ✓ 回収物の種類や組成に合った分析機器・方法を用いることで、高い分析精度を実現

精製技術



- ✓ 回収物ごとに最適な前処理を行うことで、貴金属を効率的に精製
- ✓ 創業時から培った経験と自動化・省人化を実現する最新設備によって、高い回収効率を実現

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業の3つのステップ

STEP1 さまざまな分野から発生する貴金属含有スクラップを回収（Collection）

STEP2 蓄積したノウハウを活かした精確な分析および回収（Recovery）

STEP3 精製した貴金属は顧客へ現物返却もしくは、商品市場や商社などで販売

STEP1
回収（Collection）



デンタル
- ✓ 歯科用の補てつ物



宝飾
- ✓ 宝飾品（指輪・ネックレス等）



電子
- ✓ 表面処理
- ✓ 精密洗浄
- ✓ Eスクラップ



触媒
- ✓ 自動車触媒
- ✓ 化学触媒

✓ 各産業から発生する貴金属含有スクラップの回収

STEP2
分析・回収（Recovery）





✓ 合理的なサンプリングと分析技術
✓ 蓄積したノウハウを活かした回収

STEP3
現物返却または販売





✓ 顧客へ貴金属を返却
✓ メーカーや商品市場等で販売

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

デンタル分野の概要



回収先 ➢ 歯科医院、歯科技工所

回収品目 ➢ 銀歯などの撤去冠、歯科技工所で発生する加工くず

回収元素 ➢ 金・銀・パラジウム・プラチナ

事業の特徴

- ➢ 顧客密着型の営業により高い市場シェアを獲得
- ➢ 自社の営業員が日本全国の歯科医院を訪問
- ➢ 自社で開発したアプリなどを活用し、効率的な営業活動を実現

主なビジネスモデル



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

STEP1 宝飾分野からの回収

宝飾分野の概要



回収先 ➢ 買取業者、宝飾品製造工場

回収品目 ➢ 買い取りされた宝飾品、工場で発生する加工くず

回収元素 ➢ 金・銀・パラジウム・プラチナ

事業の特徴

- ➢ 採算性の高い顧客からの回収に注力し、収益性が向上
- ➢ 事業領域拡大のため、タイやインドでの営業を強化

主なビジネスモデル



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

電子分野からの回収

表面処理の概要



回収先 ➢ 電子部品メーカー、半導体製品メーカー

回収品目 ➢ メッキ廃液

回収元素 ➢ 金・銀・パラジウム

事業の特徴

- 貴金属メッキは工業分野で幅広く利用される
- 当社が独自に開発した電解式自動貴金属回収装置を顧客の工場ラインに導入し、貴金属を効率よく回収

主なビジネスモデル



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

精密洗浄の概要



回収先 ➢ 電子部品メーカー、半導体製品メーカー

回収品目 ➢ 電子・半導体製品の製造時に使用される真空蒸着装置、スパッタリング装置の防着板など

回収元素 ➢ 金・銀・パラジウム・プラチナ

事業の特徴

- ➢ 電子部品・半導体製品の製造工程で防着板などに付着した貴金属の剥離・回収を行う
- ➢ 顧客から防着板などを預かり、精密洗浄によって性能を回復したうえで返却

主なビジネスモデル



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

電子分野からの回収

Eスクラップの概要



回収先 ➢ 電子部品メーカー、半導体製品メーカー、小型家電リサイクル法認定業者、流通業者

回収品目 ➢ プリント基板、工場から発生する端材、コネクタ、情報機器の回路基板、車載電装品

回収元素 ➢ 金・銀・パラジウム・銅

事業の特徴

- ➢ 工場の生産ラインにおいて発生する端材や不良品などを回収
- ➢ 使用済み製品に含まれる電子部品や回路基板などを回収

主なビジネスモデル



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

触媒分野からの回収

触媒分野の概要



回収先 ➢ 触媒メーカー、自動車メーカー、自動車解体業者、化学・医薬品メーカー

回収品目 ➢ 自動車触媒、化学触媒

回収元素 ➢ パラジウム・プラチナ・ロジウム

事業の特徴

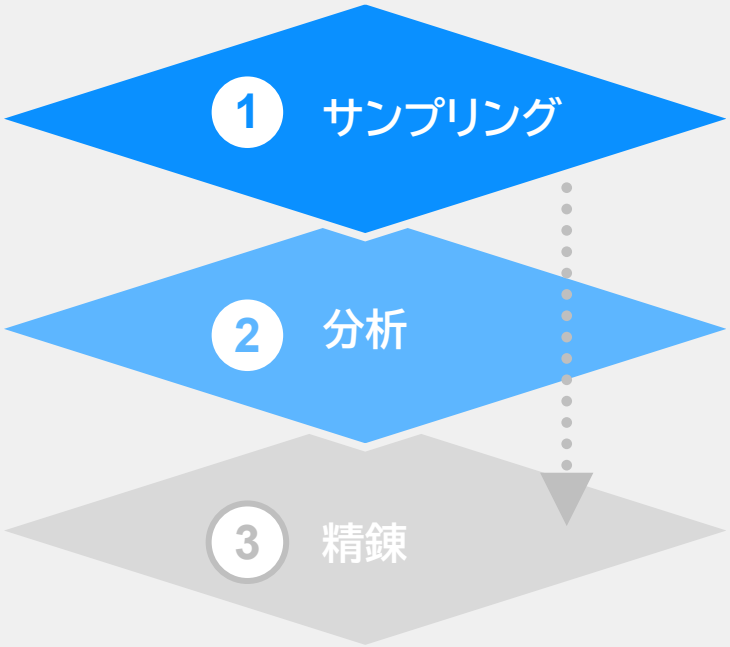
- 自動車の触媒コンバーターには排気ガスに含まれる有害物質を無害化する触媒が使用され、この触媒に貴金属が使われる
- 化学・医薬品製造において、化学反応を促進することを目的に、貴金属が触媒として使用される

主なビジネスモデル



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

合理的なサンプリングと精確な分析



サンプリング技術



自動サンプリング装置

- 回収物を複数の工程により均一化し、代表性のあるサンプルを抽出
- サンプルの精度が分析の精確性を左右
- 最新の工場ではサンプリングの自動化設備を導入

分析技術



誘導結合プラズマ(ICP)
発光を用いた分析

- 原材料や組成に合った分析機器・方法を用いて高い分析精度を実現
- 精確な分析は自社の競争力を高めるだけでなく、顧客からの信頼性確保にも繋がる

Point

- 長年のノウハウを活かし、合理的なサンプリングと分析によって回収物の価値を正しく評価

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

- ✓ 環境や社会への影響を評価した”グリーンプレミアム”の成立
- ✓ 宝飾産業を皮切りに、さまざまな産業・分野がリサイクル由来原材料の調達方針を発表
- ✓ 日本国内の自動車産業に対してリサイクル生産したプラチナ・パラジウムの供給開始



グリーンプレミアム

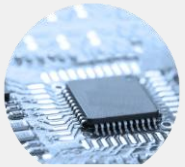
鉱山から産出された貴金属よりも価値が高いとして、リサイクル生産された貴金属に対して付与される追加的対価



宝飾産業

企業例 ➢ BVLGARI

“ブルガリが調達する金の99%以上はリサイクルゴールドであり、採掘作業で発生する環境および社会への影響を効果的に削減している。”



電子産業

企業例 ➢ Apple

“2025年までに自社設計の全製品のメインロジックボードで、認定リサイクル金メッキを100%使用する。”



自動車

企業例 ➢ BMW Group

“サステナビリティ戦略において、使用済み触媒コンバーターから回収されたリサイクル貴金属の使用を重視する。”



産業機器

企業例 ➢ Siemens

“2030年までに金属および樹脂のセカンダリー調達比率を段階的に高めていくことを目指す。”

※ 各社のHPおよびサステナビリティレポートより抜粋

※ 上記の企業例は、当社との取引実績の有無を示すものではありません

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　分野別回収元素の構成比

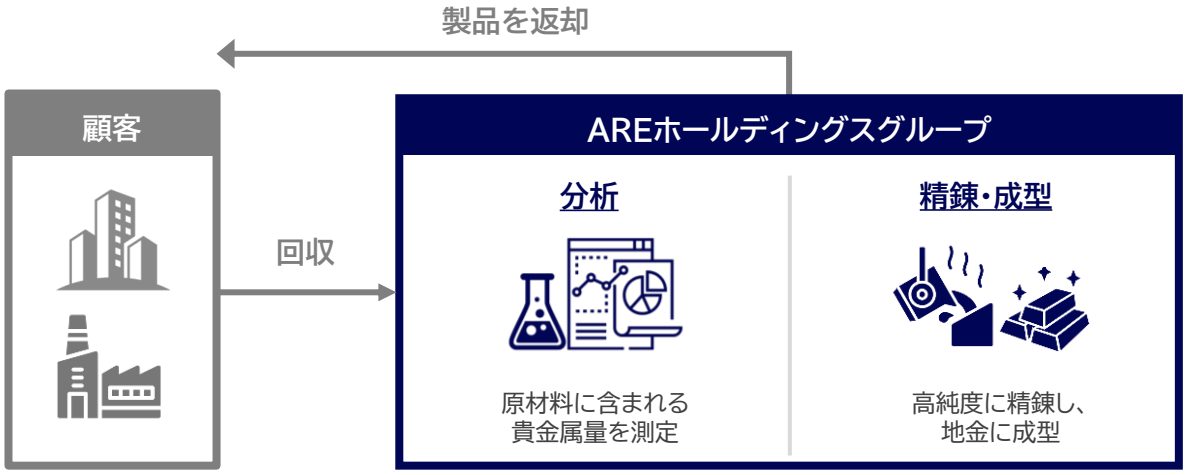
	元素別構成比			
	金	パラジウム	プラチナ	ロジウム
デンタル	 30～50%	 50～70%	 10%未満	—
宝飾	 70%以上	 10%未満	 10～30%	—
電子	 70%以上	 10%未満	 10%未満	—
触媒	—	 50～70%	 30～50%	 10%未満

※ 表中のアイコンは各分野の回収量全体(銀, 銅を除く)に占める各元素の割合を示す。

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属事業における取引形態

返却型取引



貴金属の買取が無いため、精錬手数料のみが売上収益となる。

買取型取引



回収物の購入額が売上原価となり、精錬後の地金の販売額が売上収益となる。

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属事業の収益モデル｜2つの収益源泉

- 貴金属事業の利益は安定収益源である**精錬手数料**と、貴金属価格の水準が影響する**収率差異**から構成される
- 貴金属の価格リスクは**基本的にフルヘッジ**されており、**価格下落による業績への影響は限定的**

収益モデルのイメージ図



変動収益

- 収率差異は、実際の収率と顧客に支払・返却する契約収率の差異
- 収率差異分は確定時点で売却するため、**売却時の貴金属価格が高いほど収益額は大きくなる**
- 設備投資等による実収率の向上や貴金属価格の上昇によって収益が拡大

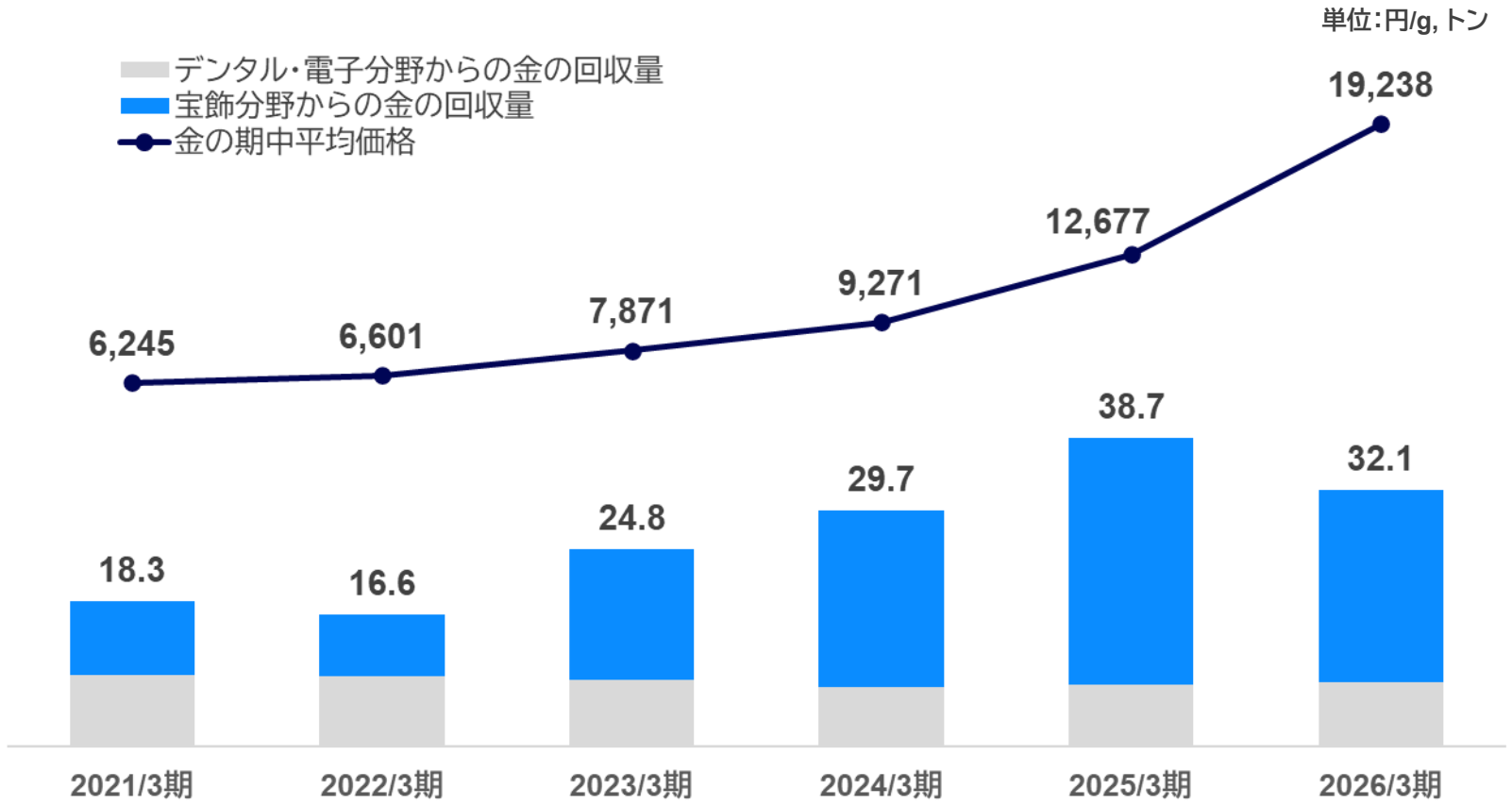
安定収益

- 各分野からの貴金属回収量と、分野・取引先ごとに設定される精錬単価を掛け合わせた安定的な収益源
- 処理工程が複雑な原料ほど、精錬単価は高くなる
- **貴金属価格の変動影響は受けない**

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　金の回収量推移

- 金価格の高騰を背景に、2022/3期以降、宝飾分野を中心に金の回収量は年々増加
- 2026/3期は採算性をより重視した結果、回収量は前期比で減少



※金の価格は山元建値の期中平均値を記載

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

リサイクルプロセスによる環境負荷低減

- リサイクル原料から作られる当社の製品は、採掘由来の原料に比べて製造過程のCO_2発生量を98%削減可能
- 当社では製造工程で発生するNOxを水に溶解し、硝酸として再利用することで、環境への影響を排除

CO_2排出量の少ない製造プロセス

火力を用いる乾式精錬



鉱山由来の原料

CO_2



地金

酸・アルカリを用いる湿式精錬



リサイクル原料

CO_2排出量 98%削減

CO_2



グラニュール

製造工程で発生するNOxを再利用

貴金属リサイクルのプロセス



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

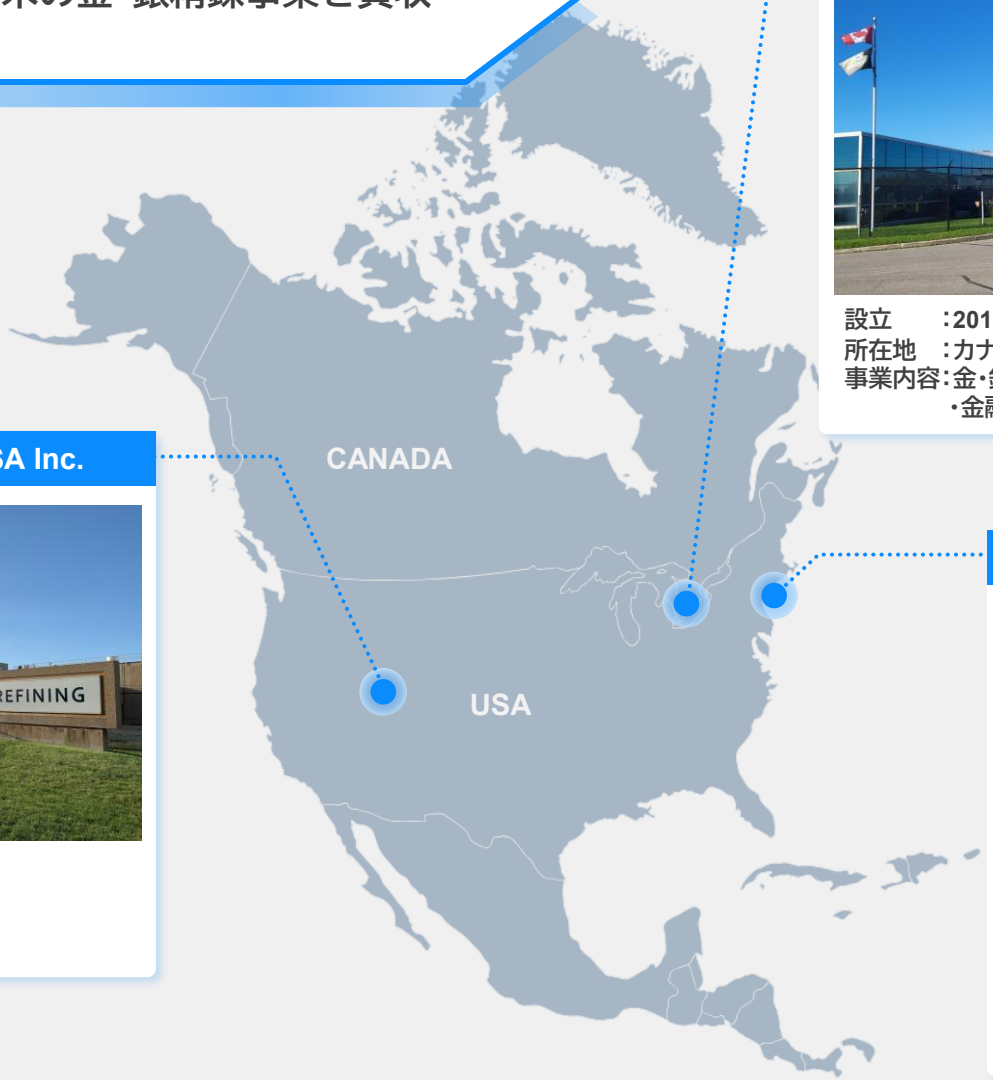
1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

北米精錬事業の拠点

事業参入
2015年

北米の金・銀精錬事業を買収



Asahi Refining Canada Ltd.



設立　　:2015年
所在地　:カナダ・オンタリオ州
事業内容:金・銀の精錬
　　・金融事業・コーポレート部門

Asahi Refining USA Inc.



設立　　:2015年
所在地　:米国・ユタ州
事業内容:金・銀の精錬

Asahi Depository LLC



設立　　:2021年
所在地　:米国・ニューヨーク州
事業内容:倉庫事業

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

北米精錬事業　コアとなる精錬事業

顧客



金・銀鉱山会社
宝飾スクラップディーラー

回収

返却

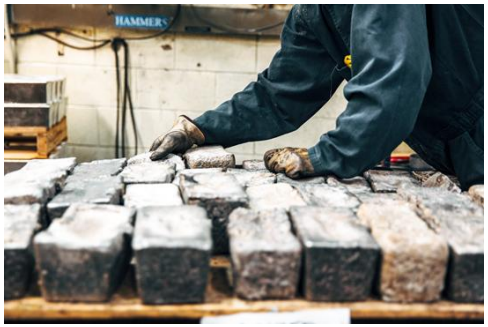
精錬事業



分析・精錬

Point

- ✓ 顧客から預かった原材料を精錬する際に発生する精錬手数料が主な収益源
- ✓ 取り扱う原材料は主に鉱山から入荷するドーレ(鉱石を濃縮した中間製品)が中心



事業の強み

- ✓ 日本国内で蓄積した分析・精錬ノウハウの活用によって、精錬能力・生産性を向上
- ✓ 南北アメリカ大陸における宝飾品スクラップ市場では高い取り扱いシェアを誇る

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

北米精錬事業の概況

利益の発生箇所

北米精錬事業の主な取引先

- 宝飾スクラップディーラー
- 鉱山会社
- 金融機関

入荷

金融サービス提供

返却

入庫

入荷

返却

搬入

精錬事業

- 鉱山会社・宝飾スクラップディーラー等から入荷した原料を精錬

精錬手数料　フリーメタル※

※実収率と契約収率の差異

分析　精錬

トレーディング事業

- 精錬取引先に対して金融サービスを提供

スポット取引　裁定取引

ヘッジソリューション　前渡し取引

先渡し、オプション取引など

製品事業

鋳直し

- 市場ごとのバーの規格に合わせた鋳直し

加工手数料

地金製造

- 精錬して純度を高めた貴金属をバーに成型・加工

製品プレミアム

倉庫事業

- 精錬後の製品を自社が運営するCOMEX認定倉庫へ搬入し、製品売却後も保管・管理

保管料

出庫料

保管

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

北米精錬事業 「前渡し取引」の流れ

- 前渡し取引は、精錬取引の一環として行われるもので、精錬取引の拡大に資する仕組み
- この取引により一時的に資産・負債が増加するものの、前渡し期間に応じた**金利収益を通じて利益に貢献し、取引関係の強化にもつながる**

顧客（主に鉱山）

原材料

- 鉱石を濃縮した中間製品であるドーレを出荷
- 原材料の早期資金化を目的に、前渡し取引を依頼

資産UP

代金の一部を前渡し

- 精錬が完了する前に資金・貴金属を前渡し
- 担保となる資産を保有した状態で行うため、**与信リスクなし**

ASAHI REFINING

入荷

分析

- 顧客から金や銀の精錬前原材料を入荷
- 当社精錬所で原材料に含まれる貴金属含有量を分析

精錬・製品化・売却

- 原材料の精錬・製品加工（地金製造）を完了
- 地金を市場で売却

金融機関

負債UP

前渡し資金の借入

- 分析結果および契約内容に基づき、前渡し額を決定・借入

資産・負債DOWN

借入金の返済

- 売却で得た金額を借入金の返済に充当
- **前渡し期間に応じた利息**が利益となる（前渡し金利＞借入金利）

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

目次

1. 2027年3月期 第2四半期決算
2. 2027年3月期 通期業績予想の修正

Appendix

1. 中長期ビジョンのアップデート
2. 各種外部評価
3. 事業の特長（貴金属リサイクル事業）
4. 事業の特長（北米精錬事業）
5. データブック

Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

四半期ごとの各種実績

		2026/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	2027/3期 1Q	2Q
売上収益							
貴金属リサイクル事業	（億円）	1,297	920	1,363	1,771	1,889	1,580
北米精錬事業	（億円）	74	91	101	82	82	99
営業利益							
貴金属リサイクル事業	（億円）	38	32	55	73	92	66
北米精錬事業	（億円）	18	51	75	17	31	95
自己資本比率							
自己資本比率	（%）	27.8	19.8	17.2	37.5	35.3	32.2
自己資本比率（調整後）	（%）	84.2	71.5	65.3	79.0	80.2	80.5
貴金属回収量							
金	（トン）	8.9	7.2	8.3	7.7	7.0	7.0
パラジウム	（トン）	1.2	1.3	1.4	1.5	1.3	1.3
プラチナ	（トン）	1.7	1.6	2.1	2.2	2.1	1.7
ロジウム	（kg）	47	53	58	55	43	47

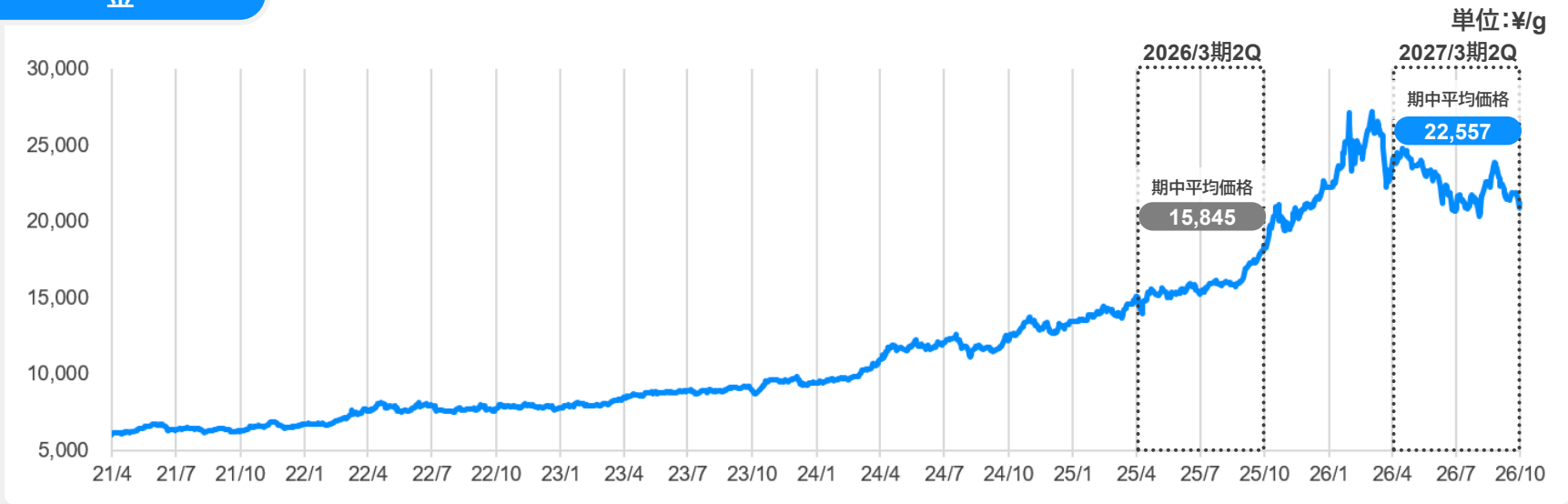
※短信等で開示している「貴金属事業」は調整額等を含むセグメント数値であり、「貴金属リサイクル事業」と「北米精錬事業」の単純合算値とは異なる

※自己資本比率（調整後）は、換金性の高い資産を除いて算出

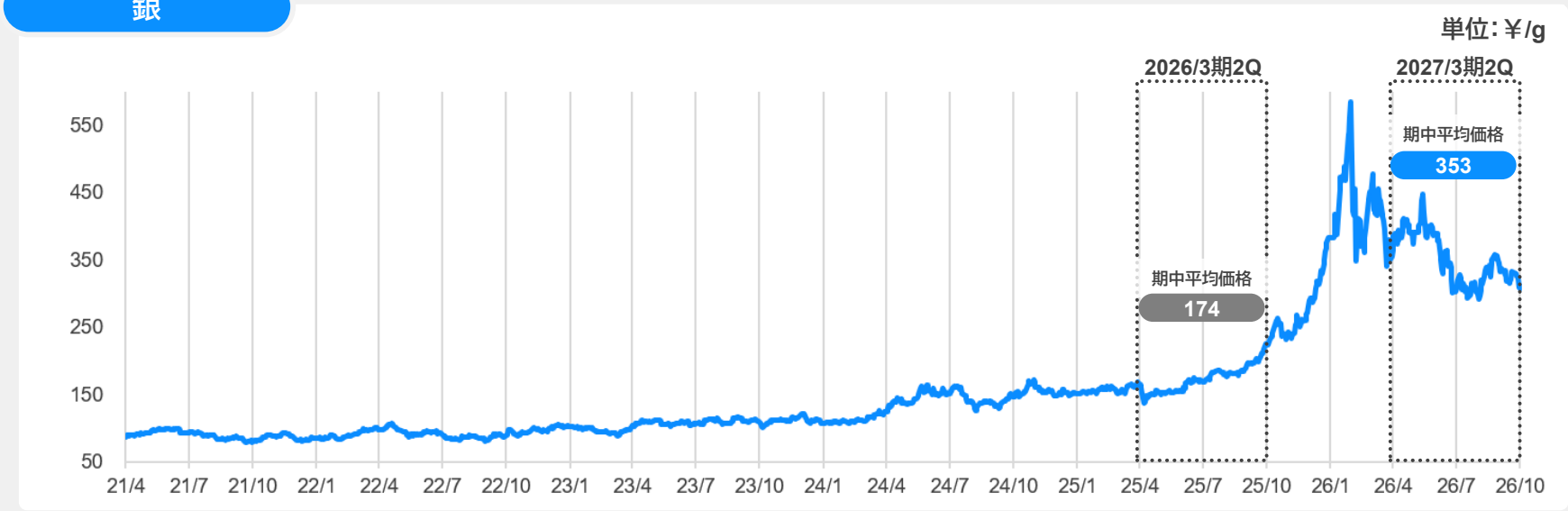
Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

貴金属リサイクル事業　貴金属価格推移（金・銀）

金



銀



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

【参照元】山元建値

貴金属リサイクル事業　貴金属価格推移（白金族）

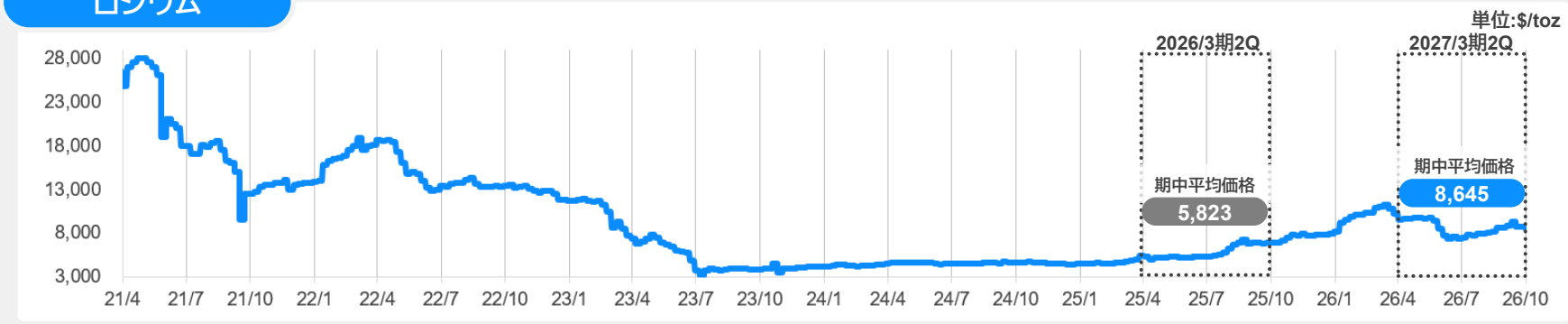
パラジウム



プラチナ



ロジウム



Copyright © ARE Holdings, Inc. All rights reserved.

【参照元】プラチナ：小売価格（税抜）、パラジウム：日経安値、ロジウム：Metals Week NY Dealer Prices